

動き

長野市陸上競技協会 会報 第41号

発行日 平成25年10月15日
発行所 長野市陸上競技協会
発行人 内山了治
編集人 田島康彦
URL: <http://nriku.jp/>
E-mail: info@nriku.jp

題字：長野市陸協
三代目会長 山浦 保先生

2020年 東京 開催決定 夏季オリンピック パラリンピック

「五輪開催都市 長野市」、長野市陸協として
長野市陸協理事長 内山了治

2020 東京オリンピック・パラリンピック開催が決定した。

- ◆正式名称：第32回オリンピック競技大会 28競技
開催期間：2020年7月24日（金）～8月9日（日）
- ◆正式名称：第16回パラリンピック競技大会 22競技
開催期間：2020年8月25日（火）～9月6日（日）

招致委員会の猪瀬直樹東京都知事は、「開催決定に寄せて」というタイトルで、『「希望」を創り出していく。未来を担う子どもたちのために夢と希望を与え、被災地の復興をさらに加速させる。「平和でよりよい世界の実現」を目指し、世界中にオリンピックムーブメントを拡げる。アスリートが最高のパフォーマンスを発揮できる環境を用意し、世界中から日本を訪れるお客様に素晴らしいおもてなしを提供したい。』と開催決定までの謝意とともに開催決意を世界中に発信している（引用 <https://tokyo2020.jp/jp/message/>）。

一方、東京国体の懇親会のご挨拶で、日本陸連横川浩新会長は、決定のその瞬間は会場にて「わき上がる喜び」を感じたが、数時間後には、東京では日本の陸上競技を世界と戦えるレベルに引き上げなければならない重責から「沈みこむ喜び」に変化した、全国の力を結集して欲しいと述べられた。

7年後といってもあつという間である。オリンピック開催都市であり、「スポーツを軸としたまちづくり」を推進する「長野市」の動向にも期待したいが、当協会としては、長野陸協と連携して、強化合宿・記録会誘致など選手育成・強化一体プログラムを早期に作成し、オリンピック選手を輩出できるように取り組んでいきたい。そのためにも、各種会議・審判出席率向上など現実的な課題解決に加え、市陸協会員の更なる意識統一、強化組織・体制の充実と運用が急務といえる。

暑い 熱い夏 長野市内入賞者 全国高校H 3名入賞 全国中学 2名入賞 全国小学生 2名出場 全国高専 10種目入賞 実りの秋... 国体 1名入賞、4名出場



IH女子400mH 2位
内山 成実(長野吉田高3)



IH男子1500m 4位
確井 涼太(長野日大高2)

IH女子5000mW 7位(写真無し)
溝口 友己歩(長野東高1)



全中男子共通四種競技 2位
竹村 地智(東北中3)



全中女子共通1500m 7位
和田 有菜(川中島中2)

☆☆ もくじ ☆☆

▶東京五輪決定..... 1	▶思い出の写真シリーズ..... 6
▶全国高校総体・中学大会..... 1	▶Hope さん..... 7
▶日本混成長野市開催..... 2	▶長野市陸協理事会報告..... 7
▶各種全国大会結果..... 4	▶第68回国体結果..... 8
▶市陸協の支え(長谷川体育)... 5	▶ながの中学駅伝結果..... 8
▶日本陸連栄章受章..... 6	▶各種連絡・編集後記..... 8

第97回日本選手権・第29回日本ジュニア選手権混成競技開催

平成25年6月1日～6月2日 於：長野市営陸上競技場



十種競技表彰 左から2位中村・優勝右代・3位音部選手

んだ大会でありましたが、競技のスタートで、ピストルの回線の不具合により、約1時間の競技開始が遅れてしまった事実は、選手達に何とお詫びをしたら良いか、責任を感じております。事前の準備は、十分過ぎる位であっても良いのではないかという事を痛切に感じました。これらの反省を来年のために生かさなければと思っています。

天候にも恵まれて、2日間陸上ファンが競技場に大勢詰め掛けて大会を盛り上げていただき、右代選手がモスクワの世界選手権代表に選考された事が、せめての償いになったと思っています。

長野市陸協会員の皆様方のご協力をいただき、無事終了出来た事に心より感謝申し上げます。

第97回日本選手権混成大会を終えて
大会実行委員長 伊藤 利博

2回目を迎える日本選手権混成競技大会は、昨年の反省を踏まえて、早い段階から準備を進めました。

まず、大会を行うにあたり二本柱となる、大会運営面と競技運営面の係を二本立てにして、大会運営面を内山先生が中心に陸連との折衝、プロ編成等を主に担っていただき、競技面では、玉城先生を中心として審判編成を含め当日の競技運営を進めていただきました。いろいろとご苦労もありましたが、車の両輪がうまく噛み合っ内山先生の仕事の量が多少軽減されたのではないかと思います。又、審判員の若返りも長野陸協としては、革命的であったと思います。通常県下で行われている競技会では、現役を退いた方々をたよりしなければ出来ませんが、全国的な大会となれば、若い審判員をピックアップして審判編成が出来た事は、活気があり、スタンドから見る観衆の目も審判員の動きに注目したのではないかと思います。

昨年は初めての経験という事で、競技運営面で、許される面もありましたが、今年こそは絶対にミスは許されないと臨

大会運営担当 副実行委員長 内山 了治

本大会の共催、後援、協力団体の皆様方はじめご指導ご協力を賜りました皆様方に感謝申し上げます。そして、昨年は照明の「準備不足：雷雨による中断と車のヘッドライト活用」、今回は「確認不足：ピストル信号通信システムの不備」という W エラーを犯してしまい心からお詫び申し上げます。両方とも事前のチェックが甘かったと言わざるを得ません。昨年の準備不足を今年も改善できず、日本陸連や参加選手の皆様方から「長野陸協」の態勢批判や信頼の失墜を招いてしまい心苦しい限りです。それでも、このような大会スタートのつまずきをご関係の皆様と競技役員が一丸となり克服し、選手の「好記録」創出のためにそれぞれの任務を遂行し大会を終えることができました。心より御礼申し上げます。

ところで、この日本混成について、今回も昨年同様日本陸連をはじめ審判各部署から反省事項を頂いております。これらの中で危惧する点は、長野陸協理事の方々の中にも大会の趣旨、混成競技を日本選手権本体から分離させた日本陸連の方針、サブイベント種目の持ち方、さらには本大会の開催をとおして長野陸協の運営能力・審判能力の向上、そして混成

自己新	第97回日本陸上競技選手権大会(混成競技)結果				第29回日本ジュニア陸上競技選手権大会(混成競技)結果			
	十種競技 選手名/所属	総合 得点	七種競技 選手名/所属	総合 得点	ジュニア十種競技 選手名/所属	総合 得点	ジュニア七種競技 選手名/所属	総合 得点
1	右代 啓祐 ウシロ ケイスケ スズキ浜松アスリートクラブ	7808	桐山 智衣 キリヤマ チェ 中京大学	5564	下司 剛久 ゲシ タケヒサ 関西学院大	6557	松岡 絵里 マツオカ エリ 大阪成蹊大	4921
2	中村 明彦 ナカムラ アキヒコ スズキ浜松アスリートクラブ	7723	竹原 史恵 タケハラ フミエ 長谷川体育施設	5417	荒谷 亘彦 アラタニ ノブヒコ 東京学芸大	6537	山岡 未与 ヤマオカ ミト 東大阪大	4829
3	音部 拓仁 オトベタクミ 富士通	7381	中田 有紀 ナカタ ユキ 日本保育サービス	5356	栗原 彰理 クリハラ アキマサ 日本大	6416	澤田 珠里 サワダ ジュリ 白梅学園高	4775
4	東中 陽太郎 ヒガシナカ ヨウタロウ 中京大クラブ	7367	富山 朝代 トミヤマ アサヨ 東大阪市陸協	5233	坂本 憲哉 サカモト ケンヤ 中京大	6410	高橋 このか タカハシ コノカ 白梅学園高	4772
5	染谷 幸喜 ソメヤ コウキ TeamAccel	7333	春田 亜沙美 ハルタ アサミ 筑波大学	5102	城野 有希 シロノ ユウキ 国際武道大	6324	佐藤 静香 サトウ シズカ 新潟医療福祉大 ←小諸高	10位 4551
6	川崎 和也 カワサキ カズヤ 順天堂大	7196	高瀬 怜奈 タカセ レナ 熊本大	4961	柏倉 飛鳥 カシワグラ アスカ 東京学芸大	6195	大日方 紗愛 オビナタ サエ 中京大 ← 文化学園長野高	13位 4122
長野出身	三村 瑞樹 ミムラ ミズキ 東京学芸大 ← 伊那北高	16位 6740	宮澤 七夕子 ミヤザワ ナツコ 信州大 ← 長野吉田高	14位 4198	長野県出身者の出場無し		川上 美葉 カワカミ ミハ 国士舘大 ← 小諸高	14位 3910



競技者増加と競技力の向上をいかに進めるかというビジョンについて、理解されていない方もおられるのではということです。共通理解が希薄なため、大会を押し進める組織力が高まらず大会の盛り上げにも繋がらないという現実があるかと思われます。これらのことは、審判編成の不满、広告収入の地区格差、或いは仕事の偏りなどからも容易に推察されます。

本大会準備運営には、筆者自身も非常にストレスを感じ、正直放り出したい気持ちで一杯でした。当然ながら平日この仕事をできるのは19時以降です。土日は指導している選手もおり、4月・5月は高体連と学連双方の大会にお世話になり時間のやりくりは本当に厳しいものがありました。

しかし、「日本選手権」を長野で開催できることは大変名誉なことで、県内の混成競技者も若干増加したように感じますし、最終種目終了後に行われる選手一丸となった挨拶はまさしくBig大会の影響か、あの光景に思わず微笑んでしまう方も多いと思います。後々、日本混成が「長野は良かった」と語られるように、今度こそ入念な準備と運営のノーマスを目指しラストスパートをしたいと思います。どうか皆様方の更なるご指導・協力をお願い申し上げます。

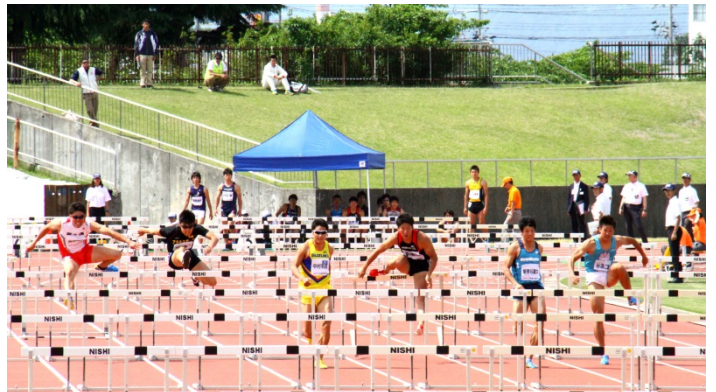
競技運営担当 実行委員 玉城 良二

長野での開催2年目を迎え、実行委員会より競技運営の重責を仰せつかりましたが、何分にも微力であり、経験も乏しく、不安ばかりのスタートでした。

そのような中で、今回は「競技役員の若返り」ということを目指し、将来の長野陸協を支えていく人材の発掘、育成を図りました。実行委員会や理事会の了承を得ながら、藤森審判長の寛大な心の元に、日本陸連の指導もいただきながらの競技役員の編成となりました。今まで競技役員として活躍をされてこれ、今もなお情熱的にその任に当たって戴いている経験豊富な審判の皆様には大変申し訳ないという思いもありましたが、この機会を逃してしまいますと若手の育成は図れないという決意でした。幸い、信州大学や長野高専の学生審判員のご協力を得られたことには深く感謝申し上げます。また、各主任の皆様のご協力を得て「競技運営マニュアル」も何とか形にすることができました。

今大会を振り返ってみると、初日のスタートのトラブルや各係間での連携、用具の不備、審判の服装や行動、態度のありかたなどの課題もありました。しかしながら、2日間を通して競技会が無事開催できたことは、長野陸協の「底ちから」を感じました。

来年度は長野での開催が最後になりますが、今までの課題を早い時期より洗い出し、計画的に競技運営の準備ができるようにしていかなければと感じています。



バックストレート側走路供用開始 (シニア十種競技110mH)
信号通信システムは2日目(6月2日)順調に作動した

サブイベント参加者数(のべ人数)								
区分	性別	実施日	種目	H25(人)	小計	H24(人)	小計	
選抜小学生	男子	1日目	100m	3-DS2	48	18	198	
			三種100m	0				
			三種ホ-ル投げ	0				
		2日目	三種走幅跳	0				
			4×100mR	4t12-DS1t		6t48		
			混合	4×100mR		2t8-DS1t		6t48
	女子	1日目	100m	9-DS3	48	24	198	
			三種100m	0				
		2日目	三種ホ-ル投げ	0				
			三種走幅跳	0				
選抜中学生	男子	1日目	100m	18	294	20	276	
			四種100m	9				
			四種走高跳	9				
			四種砲丸投	9				
		2日目	200m	24		24		
			四種110mH					
			4×100mR	16t96		16t96		
			混合	4×100mR		2t8-DS1t		6t48
	女子	1日目	100m	18	48	22	198	
			四種100m	9				
			四種走高跳	9				
		2日目	四種砲丸投	9				
			200m	24		12		
			四種100mH	9				
選抜高校	男子	1日目	100m	27	102	24	96	
		2日目	200m	27				
	女子	1日目	100m	24		24		
		2日目	200m	24		24		
	選抜一般	男子	1日目	100m	6	12	13	54
			2日目	200m	4-3DS		9	
女子		1日目	100m	1	6			
		2日目	200m	1	5			
競歩	男子	2日目	5000mW	17	31	9	0	
	女子	1日目	5000mW	14		6		
合計(延べ人数)					487		624	

t:チーム数、DS:棄権

2013 北部九州総体報告

平成25年度 全国高等学校総合体育大会

秩父宮賜杯 第66回全国高等学校陸上競技対校選手権大会

長野市陸協普及強化部長 藤森 要 (長野吉田高校教員)

長野市内関係3名が入賞
女子4×400mリレーで長野吉田高が、
3分46秒50 長野県・長野県高校新記録樹立
(従来の記録は長野高校の 3分49秒98 H24/8/01 全国高校)

去る7月30日～8月3日、2013 北部九州総体が分県の大分県の大分銀行ドームで開催されました。今年も全国的に猛暑の夏でしたが、大分の地も気温が連日 34～35 度を超える猛暑の中でのインターハイとなりました。

今大会で長野県選手は4名(5種目)が入賞を果たしました。市内高校関係では、男子1500mで碓井涼太君(長野日大2年)が冷静なレース運びと見事なラストスパートで4位に入賞しました。女子400mHの内山成実さん(長野吉田3年)は、最終ハードルまで優勝争いし惜しくも2位という結果でしたが、優勝を目指す気持ちが伝わる積極的なレースでした。女子5000mWの溝口友己歩さん(長野東1年)は1年生でただ一人決勝に残り、決勝でも予選のタイムを上回る素晴らしい歩きで7位入賞を果たしました。入賞した選手は全員がインターハイの舞台で自己記録を大幅に更新した選手でした。

このように選手が好成績を残せたのも、長野市陸協をはじめ、関係する方々のご支援、ご声援のお陰と感謝申し上げます。今後ともご指導よろしく願いいたします。

長野市内高校関係の結果詳細

氏名	学校名	学年	出場種目	結果
内山 成実	長野吉田	3	400mH	2位 59"59 予3組1着1'00"66, 準決2組1着1'00"28 400m 予1組5着 57"28
碓井 涼太	長野日大	2	1500m	4位 3'49"50 予4組5着 3'52"94
溝口 友己歩	長野東	1	5000mW	7位 24'26"27 予1組6着 24'54"35
浅川 優人	長野	2	400m	予2組5着 48"56
水梨 百哉	長野日大	3	800m	予2組5着 1'54"86
大野 力	長野日大	2	3000mSC	予2組15着 9'52"92
	長野		4×400mR	予7組8着 3'21"04
正村 太一	3・鷹野 洋3・吉越 太一朗	2		浅川 優人2
芋川 駿	長野吉田	2	走高跳	予2組10位 2m00
内山 貴仁	長野日大	2	走高跳	予2組11位 1m95
鈴木 千穂	長野吉田	3	100m	予6組6着 12"58(-2.2)
村上 りさ子	長野吉田	3	800m	予8組6着 2'14"65
小林 真帆	長野	3	1500m	予3組14着 4'37"66
小口 雪音	長野東	2	1500m	予1組9着 4'32"89
			3000m	予3組14着 9'57"74
塩崎 葵	長野東	1	1500m	予2組12着 4'33"88
北林 由里	長野東	3	3000m	予1組22着 10'48"85
玉城 かな	長野東	2	3000m	予2組9着 9'38"40
	長野吉田	2	4×100mR	予5組6着 48"68
黒岩 夏都妃	2・小山 綾菜	2・内山 成実	3・鈴木 千穂	3
	長野吉田	2	4×400mR	長野県・県高校新 小山 綾菜2・内山 成実3・村上 りさ子・鈴木 千穂3 予8組4着 3'50"94, 準1組5着 3'46"50
井口 華穂	市立長野	3	やり投	予2組7位 45m95 決13位 44m14

平成25年度 全国中学校体育大会

第40回全日本中学校陸上競技選手権大会 結果報告

長野市陸協普及強化副部長 木村 雅樹 (川中島中学校教員)

8月19日から22日に、第40回全国中学校陸上競技選手権大会が行われました。昨年度は、入賞者0という結果に終わってしまいましたが、今年度は、入賞者4名と、近年の成績と比べると素晴らしい結果かと思えます。その4名の中に、長野市内校の竹村地智君(東北中3)が男子共通四種競技で2位、和田有菜さん(川中島中2)が女子共通1500mで7位という好成績を収めてくれました。このことは長野市内の中学生の大きな目標になると思います。

今年度は、例年になく多くの選手が出場し、競技力向上が見える中、長野市からの出場が3名(北信5名)とやや物足りなさを感じる所です。北信全体を視野に入れ、記録会の充実、講習会の充実を考え、平成28年度の長野県開催全中に向けて、競技力の向上を更に進めていけるように考えていきたいと思えます。

北信地区中学関係の結果詳細

氏名	学校名	学年	種目	結果
竹村 地智	東北	3	四種競技	2位 2708点 ○数字は種目順位 110mH ⑩15.51(-0.2) 789点 砲丸投 ①13.97 727点 走高跳 ④1.77 602点 400m ⑬55.23 590点
和田 有菜	川中島	2	1500m	7位 4.28.36 予2着 4.30.77 800m 予3着 2.15.25 準8着 2.19.22
高橋 慶	犀陵	3	400m	予7着 52.40
田村 有利奈	坂城	3	100m	予8着 12.88(+1.0)
内山 裕智	信濃	3	走幅跳	14位 6.28(+2.1)

第29回 全国小学生陸上競技交流大会

8月23日～8月24日 神奈川・日産スタジアム(出場者2名)

氏名	所属	種目	結果
淀 日南子	川中島JRC	女子80mH	準決3組6着 13秒54(+0.1) 予選6組3着 13秒40(-0.9)
野沢 佑太	長野市教室	5年男子100m	予選6組5着 14秒07(-1.0)

第48回 全国高等専門学校体育大会陸上競技

8月19日～8月20日 福島県いわき市陸上競技場
長野高専入賞者 男子総合9位 20.5点

氏名	学年	種目	順位	結果
柴田 晃太郎	4	100m	6位	11秒54(-1.9)
		200m	7位	22秒80(-1.9)
北原 廉	1	1500m	6位	4分14秒71
北原 悠	3	5000m	6位	16分10秒13
岩崎 晴也	4	走高跳	5位	1m91
村田 貴大	4	走高跳	8位	1m85
岩崎 晴也	4	走幅跳	5位	6m74(+2.3)
清野 雄貴	5	やり投	8位	50m21
日極 りな	3	100mH	2位	18秒54(-4.6)
宮崎 綾奈	1	100mH	3位	19秒50(-4.6)
		4×100mR	3位	55秒27
				日極りな・宮崎綾奈・大橋里緒4・水島歌織
水島 歌織	4	走幅跳	4位	4m87(+3.8) 4m85(+0.9)

第10回 市陸協を支えて下さる方々 長谷川体育施設(株) 様



2011年3月 Class-II改修



2013年5月 バック側直走路改修

日本混成七種競技2位の竹原選手を囲んで 長谷川体育施設株式会社の皆様 (敬称略)

前列左から

- ◇本社営業部営業顧問 大村 秀夫
- ◇代表取締役社長 柴田 敏久
- ◇本社営業部7サイト社員 竹原 史恵
- ◇本社営業部課長 深谷 一仁

後列左から

- ◇北陸営業所所長 大竹 喜一
- ◇北陸営業所所長代理 藤井 大輔
- ◇執行役員北信越支店長 廣川 稔
- ◇北信越支店営業部次長 中島 等

今回は、長野市営陸上競技場建設当初からお世話になっている長谷川体育施設株式会社の皆様にご登場頂きました。陸上競技場の歴史もわかる貴重な資料ともなります。また、日本混成直前には、バックスタンド側の直走路を通常の工期ではとてもできないところを、総力を挙げて大会に間に合わせて頂きました。そして大会には、柴田社長をはじめ7名の役職の皆様方がご来場下さり、2日間にわたり施設面のご指導はもとより参加選手に熱いご声援を頂きました。改めて感謝申し上げます。(理事長)

長谷川体育施設株式会社 北信越支店 執行役員 支店長 廣川 稔

日頃何かと長野市陸上競技協会の会員の皆様にはいろいろご指導ご鞭撻頂き厚くお礼申し上げます。

弊社が長野市営陸上競技場にかかわったのは、東和田運動公園を建設中の地元建設共同企業体の下で施工させてもらった、第一種公認陸上競技場と補助競技場でありました。

当時、運動公園は昭和51年度の高校総体、53年度の国体に向け急ピッチで進められており、市営陸上競技場の走路、助走路は、メキシコオリンピック会場で採用された「タータン」と呼ばれる全天候型の舗装材が採用されました。

昭和43年のメキシコオリンピック以降、昭和48年に当社改修の霞ヶ丘国立競技場など、国内の第一種陸上競技場が全天候型に急速に普及した中でも、長野市は国内で十数番目という早い時期に、全天候型の第一種公認陸上競技場として建設されました。

公認陸上競技場を継続する為には5年ごとに日本陸連施設用器具委員会の検査を受けなければなりません。走路、助走路はもとより、国際陸連によるルール改正等々により、改修や施設の整備が必要となりますので、なにかと関係各位のご苦勞も多いかと思われます。

市営陸上競技場も5年ごとに日本陸連施設用器具委員会の

検定を受け、第一種公認を継続して来られました。弊社も体育施設建設の専門業者として、昭和51年の全天候への改修以来、長きにわたり施設整備等でお手伝いさせて頂きました。

これまでの改修は次のとおりです。

S51年 竣工「タータン」

S56年 タータン オーバーレイ (走路、助走路)

H2年 レジンエース(T.P) オーバーレイ。

H8年 レジンエースST に全面改修

H22年 レジンエースST-II (国際陸連認証) 全面オーバーレイ

H22年に国際陸連規格 CLASS IIを日本国内で初めて取得されました。この取得により、国際陸連公認国際大会を開催でき、一部の競技でオリンピックや世界陸上などの参加に必要な記録を、世界陸連公認として承認できる競技場になったことにより、注目を集め、大会参加者や利用者が増えれば大変喜ばしいことと思います。

昨年の6月に日本選手権混成競技が開催され、それをもとに今年4月現在のメインスタンド前の直走路が風の影響等を考慮し、バックスタンド側に走路を設置して6月の日本選手権混成競技大会の開催となったわけですが、同大会には弊社所属選手の竹原史恵が七種競技に参加させていただきました。

社長の柴田をはじめ、私どもも応援に参りましたが、好成绩を出してくれたので、観戦の甲斐があったと大変喜んでおりました。

今後も当競技場から沢山の好記録、日本新記録が誕生することをご期待申し上げます。

弊社としてもできる限りのご支援、ご協力は惜しまないつもりで御座居ます。

最後に長野市陸上競技協会と会員の皆様並びに関係者の方々のご隆盛とご発展をご祈念申し上げます。

日本陸連栄章 受章おめでとうございます



少年少女指導者表彰
(安藤百福記念章)
竹内 万祐 先生
(有)タケシゲ：写真左
長野市陸協副理事長



長野県中体連陸上競技専門委員長など要職を歴任。土屋翔太選手(H21 北信越中学共通 400m 7位)など数多くの選手を育成している。

H14年に川中島ジュニアランニングクラブ設立、川中島中学校コーチ(H24 全国中学女子駅伝5位入賞、H23年は同大会出場)他

中学生優秀指導者章
長田 貴 先生
長野北部中学：写真右
長野市陸協ジュニア部長

思い出の写真シリーズ 第25回

オリンピック観戦エピソード…その2 [イタリアからオランダへ]

公益財団法人 長野県体育協会
事務局長 町田 暁世 (長野陸協 監事)

バルセロナ五輪を終え、アリタリア航空でローマ入り、有名なコロッセオやトレビの泉とつかの間のローマの休日を楽しみ、一同リラックスの日々。ナポリ・ポンペイと定番の観光地へも足を延ばしました。

このナポリでは駐車しているバスへネクタイ売りがセールスに。そのネクタイは勿論シルク 100%のイタリア製、格安のお土産としては絶品の感です。ところが、その裏地たるや真正正銘のエッチ画像プリント。皆で鼻の下を長くしてたくさん購入しました。

次はアムステルダム。アンネ・フランクの館を車窓から眺め、中心街のクラスナポルスキーホテルに到着。「飾り窓」見学ツアーを企画して、小口団長を先頭に隊列を組み、一同ため息をつきながら異文化見聞。そして、正装してのカジノ体験です。一人の予算は一万円と決め、カジノ到着。私はルーレットに挑戦するも10分で惨敗です。ただ一人、尾田先生がスロットマシンで大当たりして勝利者となりました。

今回の目的の一つであるオランダ陸連はアムステルダムからバスで1時間の道のり。清楚な建物でカーフマン氏が迎えてくれました。1988年のソウル五輪時の長野合宿の思い出話に花が咲き、長野陸協国際化のベースとなる歓談でした。さらに、近くで開催されている花のオリンピックを見学。チューリップの球根をお土産にして、大満足の1日です。

今回のツアーは、文化施設の見学もたくさん経験しました。バルセロナの前日到着したマドリードでは有名なプラド美術館見学。バルセロナでもサグラダ・ファミリアや建築家ガウディが残した建造物見学。ローマのフォロ・ロマーノやバチカン市国サンピエトロ大聖堂。オランダでは国立美術館のレンブラントの「夜警」等、文化充実ツアーで少しは教養レベルの向上がみられましたが、全てが初体験で、「知識疲れ」も増加しました。

大会期間は1992年7月25日～8月9日。マラソン森下広一、有森裕子ともに銀。男子400m 高野進が8位入賞。岩崎恭子(中2)が200m平泳ぎで金メダル。バルセロナ市内のオリンピック体育館を磯崎新が設計。開会式で坂本龍一がマスケームの音楽を作曲、会場でオーケストラを指揮。(リベティイより)



第25回 バルセロナオリンピック閉会式(1972年)
下：アムステルダム国立美術館(後列右から3人目が筆者)



第31回 Hope さん 長野日本大学高等学校2年 碓井 涼太君(長野西部中出身)



全国の舞台を経験して

大分県大分銀行ドームで行われた北部九州総体陸上競技対校選手権大会1500mに出場させていただきました。

大会前の出場者ランキングは56位で、どうやってインターハイで戦うのか、手探りで練習でしたが、逆にプレッシャーがなかったのですべての練習に集中して臨むことができ

全国高校総体 1500m 4位入賞 記録 3分49秒50 来年は IH 優勝を狙う!!

ました。調子も上向き、練習が充分にできたことで気持ちを強く持って試合に出場することができました。

予選は先頭集団を引っ張り積極的に走ることに集中した結果、ラストで長野県のライバル選手と競い合うことができたこともあり、3分52秒94と自己記録を大きく更新し、決勝へ進むことができました。

決勝は、2年生なので最後まで集団で粘りラストで勝負しよう決めていたので、それほど緊張することなくリラックスして走ることができました。最後の直線が良く伸びて予選の記録を更に伸ばし、3分49秒50のタイムで4位に入賞することができました。

ここまで結果が出せたのも毎回最後まで練習に付き合い、引っ張ってくれた仲間達と、周りの方々の支えがあったからだと心から感謝しています。

これからも、支えていただける方々への感謝の気持ちを忘れず、強い選手を目指して一生懸命練習に取り組み、来年はインターハイでの優勝を狙います。

Hope さん 長野東高等学校1年 溝口 友己歩さん(大滝中出身)

インターハイ・平常心の大切さ



インターハイに出場するにあたって多くのことを学ぶことができました。その中でも特に感じたのは「平常心」の大切さです。私は、インターハイの目標を「自己ベスト24分台」と決め取り組みました。そして練習の中のつらいところを乗り越えたり、どんな練習でもポイント持てできたことから、レース当日も「平常心」でいることができました。

また、入学してからインターハイ予選の間も毎日続いていた寝る前のストレッチや、ビデオを見てフォームチェッ

全国高校総体 5000m競歩 7位入賞 記録 24分26秒27 来年は IH3位以上を狙う!!

クとレースのイメージ作りなど、一つひとつのことすべてが自信になり、やれることはやったという気持ちでスタートできたのだと思います。今までは「平常心」ということがよく分かりませんでした。今回の経験で感じることができました。

今回、結果はついてきたという感じで、目標の24分台の自己ベストで7位入賞という結果まで残せて本当に嬉しく思いました。来年のインターハイは狙っていき3位入賞の結果を残すことが目標です。一本一本のレース、大きい・小さい大会など関係なく、どんなレースでも自分のそのときの全力を出せるよう初心を忘れずこれからも頑張っていきたいです。

第1回理事会報告 平成25年7月9日(火)17時30分～18時25分

場所：メルパルク NAGANO 出席者 25名

寺島会長の挨拶の後、以下の報告事項があった。

- (1)長野陸協旧理事会 6/22, 評議員会 6/22, 新理事会 6/23, 協議委員会 7/6 について (資料回覧) : 新役員承認 (登記上 6/23 が新役員となる)、日本陸連理事会他、長野陸協第2期決算について
- (2) (公財)長野市体育協会の補助金について、同賛助会員のお願いについて、15名が賛同し45000円が集まった。(3)シニア教室前期終了報告 (4) 長野市営陸上競技場の施設・設備の改修および更新・充実に関するお願い。(5)北信選手権要項、広告について。(6)北信地区審判員講習会について。(7)富士通陸上競技部クリニックについて : H25年度は実施しない。(8)第23回キッズrun2013 募集要項、web上での申し込み、3kmコース変更について。(9)アジア選手権の結果について。(10)市陸協役員緊急連絡網について。

審議事項 (議長 理事長)

議案第1号 平成24年度長野市陸上競技協会一般会計・特別会計決算(案)について。・異議無く原案どおり承認された。議案第2号 平成25年度長野市陸上競技協会一般会計補正予算(案)について。・

異議無く原案どおり承認された。

閉会后、「平成24年度栄章受賞者祝賀会」が開催され、29名の出席者により21時まで盛大に行われた。

第2回理事会報告 平成25年9月13日(金) 16時40分～17時5分

場所：長野市営陸上競技場会議室 出席者 28名

寺島会長の挨拶の後、以下の報告事項があった。

- (1)H26年度の日本選手権混成競技 5/31(土)・6/1(日)の予定、長野県高校は23-25、日本選手権は6/5-6/8 福島。(2)国体出場選手壮行会 9/19(木) 18:30～ 第2庁舎10階 市内関係は、玉城良二監督(長野東高教員) 少年男子共通 芋川 駿(長野吉田2)、少年女子 B 塩崎 葵(長野東1)、少年女子共通 井口 華穂(市立長野3)。(3)平成25年度公認スポーツ指導者全国研修会の開催について。

審議事項 (議長 理事長)

第1号議案 平成25年度長野陸協栄章候補者の推薦について。理事長から資料に基づき原案が提案され種々検討し、長野市陸協の候補者を決定し、北信陸協常任理事会で提案することになった。

その他 特になし。以上

東日本大震災復興支援 第68回国体 長野県選手団成績

2013年10月4日～8日 会場 味の素スタジアム(調布市)

天皇杯16位、皇后杯16位、入賞数 男7、女4

氏名	競技	レース	順位	記録	風	所属
宮坂 楓	成年女子 三段跳	決勝	1	13m02	0	横浜国立大
原 奈津美	少年女子共通 棒高跳	決勝	3	3m55		上伊那農高
内山 成実	少年女子共通 800m	決勝	4	2:08.96		長野吉田高
太田 朗	成年男子 走幅跳	決勝	5	7m48	0.3	ライフメッセージ
藤澤 勇	成年男子 10000mW	決勝	5	40:36.01		ALSOK
高橋 涼太	少年男子共通 5000mW	決勝	6	20:52.40		豊科高
大和 千秋	成年女子 10000mW	決勝	6	48:06.83		飯田病院
早川 恭平	成年男子 110mH(1.067m)	決勝	6	14.03	-1.2	早稲田大
松下 優太	少年男子B 200m	決勝	8	22.22	-1	松川高
關 颯人	少年男子B 3000m	決勝	8	8:30.32		佐久長聖高
長 野	成年男子共通 4×100mR	決勝	5	40.35		予選40.07 県新

塚原 直貴	成年男子 100m	予選3着	10.65(-0.9)	準6着	10.65(-1.0)	富士通
長谷川 寛	少年男子A 100m	予選3着	10.87(-0.7)	準7着	10.88(-0.1)	松本深志高
宮崎 琢也	少年男子A 走幅跳	決勝	12	7m12	0.3	松商学園高
手塚 将弥	少年男子共通 800m	予選1組	5	1:54.21		東海大三高
今井 沙緒里	成年女子 100m	予選4着	予選1組	4	12.07	0.5 鈴波
瀧澤 彩	成年女子 400mH(0.762m)	予選2組	4	1:00.28		慶應義塾大
中島 未歩	成年女子 ハンマー投(4.000kg)	決勝	12	51m59		中京大
鈴木 千穂	少年女子A 100m	予選2組	6	12.69	-1.7	長野吉田高
金田 華実	少年女子B 200m	予選3組	5	25.79	-1.3	野沢北高
塩崎 葵	少年女子B 1500m	予選1組	6	4:33.05		長野東高
小林 英和	少年男子A 400m	予選2着	予選2組			高遠高
矢ヶ崎 奨	少年男子A やり投(800g)	決勝	26	53m07		上田東高
芋川 駿	少年男子共通 走高跳	決勝	17	1m97		長野吉田高
井口 華穂	少年女子共通 やり投(600g)	決勝	10	47m07		市長野高
清水 泰地	少年男子B 走幅跳	決勝	17	6m65	-0.3	丸子修学館高
長 野	成年女子共通 4×100mR	予選5組	6	47.36		

岩田 晃(ライフメッセージ)・長谷川 寛(松本深志高)・松下 優太(松川高)・塚原 直貴(富士通)

第7回 ながの中学駅伝

10月12日(土)南長野運動公園周辺

川中島中学校アベック優勝

【男子の部】

順位	中学名	記録
1位	川中島 A	59'14 2連覇
2位	駒ヶ根東	59'49
3位	長野東部 A	1:01'39
4位	戸倉上山田	1:02'18
5位	広徳	1:02'35
6位	鉢盛	1:02'47
7位	豊科北	1:03'55
8位	中野平	1:04'00

【女子の部】

順位	中学名	記録
1位	川中島	50'13 3連覇
2位	駒ヶ根東	50'39
3位	戸倉上山田	53'03
4位	菅野	53'57
5位	豊科北	54'17
6位	広徳	55'36
7位	更北	57'03
8位	信濃	57'12

【最優秀選手】

男子 丸山 幸輝(川中島 A)

女子 和田 有菜(川中島)

いよいよ駅伝シーズンとなります 皆様のご支援・ご声援をお願い致します

- ☆11月2日(土) 第64・28回 長野県高校駅伝(大町)
- ☆11月3日(日) 第24回 長野県中学駅伝(松本) ☆秩父宮賜杯 第45回 全日本大学駅伝(名古屋～伊勢)
- ☆11月10日(日) 第29回スパーレディース(福井)、東日本女子駅伝(福島)
- ☆11月16日(土)・17日(日) 第62回 長野県縦断駅伝 ☆17日(日) 第50回 北信越高校駅伝、第26回女子高校駅伝(富山)
- ☆11月23日(土) 第6回 北信越中学駅伝(松本)
- ☆12月15日(日) 第21回 全国中学駅伝(山口) ☆12月22日(日) 第64・25回 全国高校駅伝(京都)

☆11月7日(木)18時30分～ 県縦断駅伝 長野市チーム選手壮行会 東和田総合体育館会

壮行会へ、多くの会員皆様のご参集とチーム・選手への激励をお願い致します。

会報41号につきましては、お忙しい中、ご寄稿いただいた皆様にご感謝申し上げます。また、発行が大変遅れたことをお詫び申し上げます。

6月の日本混成は選手にご迷惑をお掛けし、連日「穴があったら入りたい」思いでした。バック側走路は、小坂憲次長野陸協会長・長野市陸協名誉会長のお力添えにより、今大会に間に合わせて頂きました。走路はあってもケーブル他計時システムが整わなければ、「走路」としては使用できません。このあたりの説明を十分したつもりでしたが、行政側にはうまく理解して頂けなかったようです。大会中のみシステムをリースするという苦肉の策が裏目に出てしまったように思います。十分な確認をする人員配置ができなかったことも悔やまれます。今後には生かしたいと思えます。

季節は、あつという間に初冠雪、先日の北アルプスは真冬の様相でした。こらからの駅伝シーズンには、それぞれのチームへのご支援ご声援を改めてお願い申し上げます。(理事長 内山 了治)

◆ 編集後記 ◆

今年の夏は、観測史上、国内過去最高気温を更新する記録的な猛暑であったが、朝夕は肌寒い風も吹き始め、虫の鳴き声も心地よい季節を迎えている。

第14回世界選手権モスクワ大会では、女子マラソンで富士加代子選手が銅メダルを獲得し悲願を達成した。富士選手といえば、数々の日本記録を樹立したトラックの女王。しかし、5000m、10000mで五輪と世陸に7度国際大会に出場したが、なかなか思うような結果を残すことができなかった。その富士選手が自身初となる世界の大舞台で堂々の3位でゴールした。その瞬間、何度も何度も飛び跳ねて全身喜びを表現している姿・笑顔がとても印象的であった。

いよいよ夏の鍛錬期を終え、秋の第2試合期。選手の最高の笑顔が見られることを期待したい。

(広報部長 田島 康彦)



Track & Field

ATHLETIC UNIFORM

スクールスポーツウェア専門
しなのメイト株式会社

(本 社) 〒389-0606
埴科郡坂城町大字上五明992-2
TEL. 0268-81-1336 FAX. 81-1337
(新潟営業所) 〒950-0823
新潟市東区東中島2-18-41
TEL. 025-256-5215 FAX. 256-5216

THIS IS A CHALLENGE TO ME